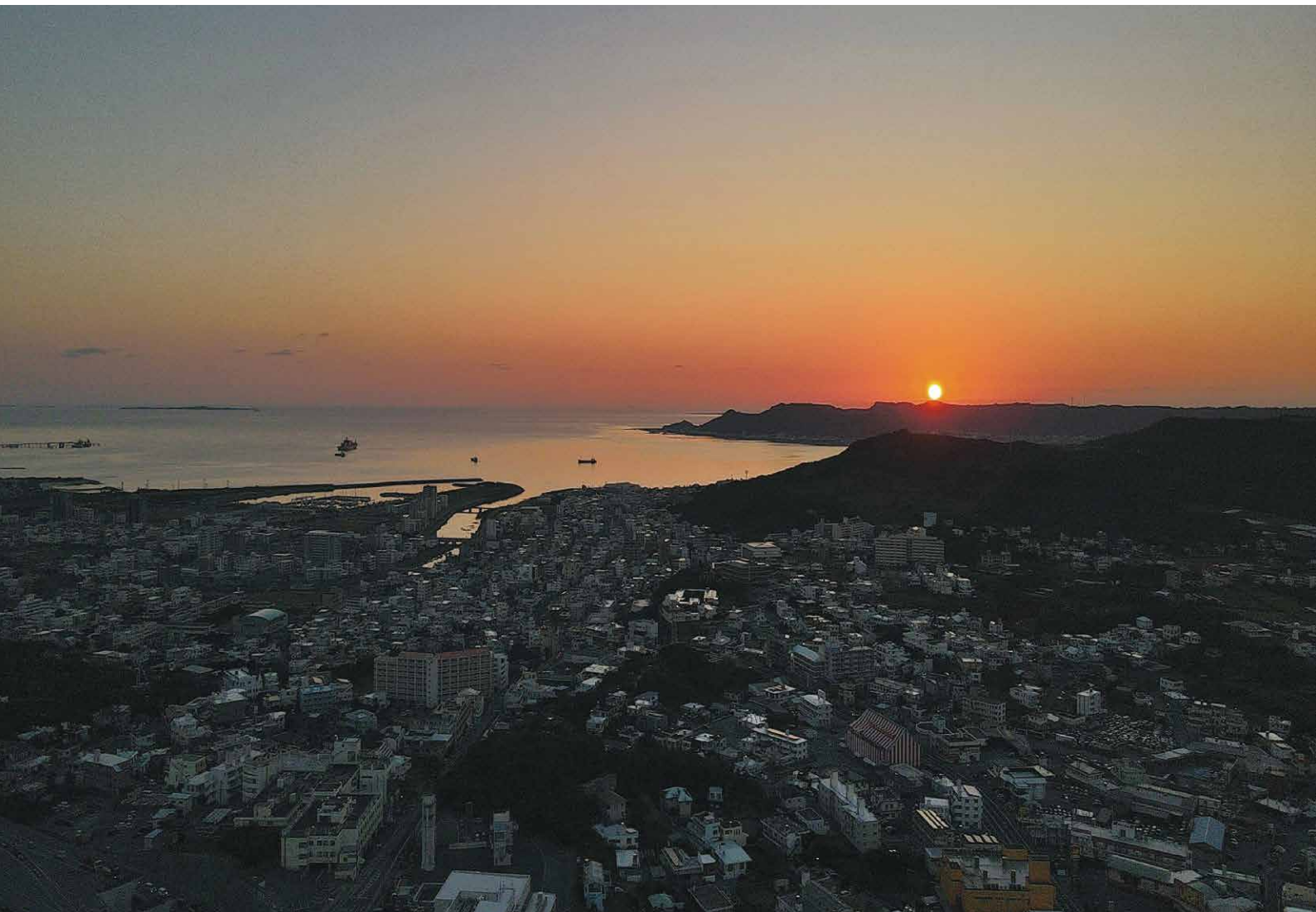


沖縄県 労働基準協会だより



主な 内 容

- 新年のごあいさつ (沖縄県労働基準協会会長)
- 新年のごあいさつ (沖縄労働局長)
- 新年のごあいさつ (那覇・中部・北部・宮古・八重山支部長)
- 新年のごあいさつ (那覇・沖縄・名護・宮古・八重山労働基準監督署長)
- 那覇支部通信 (安全衛生研修会を開催)
- 令和 7 年度講習「受講予約受付開始日」について
- 沖縄労働局から
 - ① 令和 5 年の沖縄県における業務上疾病の発生状況
 - ② 令和 6 年労働災害・死亡災害発生状況 (10 月末現在)
- 講習会のご案内 (令和 7 年 2 月分)
- 新規加入事業場のご紹介 (令和6年11月16日～12月15日)

新年の日の出

南風原町より南城市方面の洋上から登る新年の日の出をドローンを使用し上空150mから空撮しました
(撮影地 南風原町 撮影者・写真提供:屋良 学氏)

発行所／一般社団法人 沖縄県労働基準協会
〒900-0001 那覇市港町 2-5-23
電話：098-868-2826
FAX：098-869-1714

発行人／会長 島袋 清人

定 価／1 部 50 円

(会員の購読料は会費の中に含む)

ホームページ <https://www.okinawa-roukikyo.org/>



一般社団法人沖縄県労働基準協会

会 長 島袋 清人

新年のごあいさつ



春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員事業場の皆様には、当協会の業務運営につきまして、日頃から格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、当協会の講習会等を受講いただいた皆様にも心よりお礼申し上げます。引き続き、長年の実績と信頼の下、理解し易い講習に努めてまいります。

県内の社会経済活動は、入域観光客数が前年を上回り、個人消費に一部弱さが見られるものの雇用情勢の持ち直しの動きが続いていることから、拡大基調が続きました。先行きについては物価の高騰、人手不足感などがありますが、働き方改革を進め、生産性の向上、成長と分配の好循環を構築していく必要があります。

さて、県内の労働者の安全と健康を取り巻く状況をみると、労働災害は近年増加傾向にあります。また、定期健康診断実施結果における有所見率は僅かに改善し12年連続全国最下位を抜け出したもののワースト2位であり、全国平均値との差は依然として大きいのが現状です。

このような状況を改善するためには、「沖縄労働局第14次労働災害防止計画」に基づき、各事業場が労使一体となって、自発的に安全衛生対策の重点事項に取り組み、同計画の目標である労働災害の増加傾向に歯止めをかけて減少に転じさせるとともに、働き盛りの世代の健康づくりを推進する必要があります。

また、化学物質による労働災害を防止するため、労働安全衛生法に基づく新たな化学物質規制が導

入され、昨年 4 月からは「化学物質管理者」の選任等も必要となっており、また、化学物質管理活動の定着を図るため、本年より毎年 2 月に「化学物質管理強調月間」が実施されます。

人手不足、少子高齢化、物価高騰など経営環境は厳しいものがありますが、いかなる状況下でも働く人の命と健康の確保は何よりも大切なものであります。安全衛生対策に取り組むこと、健康経営を行うことは人材の確保・定着、生産性の向上、成長と分配の好循環の構築にもつながります。各事業場におかれましては、社会情勢の変化等に対応し、安全で健康に安心して働ける職場と、労働災害の増加傾向に歯止めをかけて減少に転じさせるため、労使一体となって、安全衛生活動を一層促進されますようお願い致します。

当協会は、県内事業場が安全で健康に安心して働ける職場環境の実現と、労働災害の増加傾向に歯止めをかけて減少に転じさせるため、会員事業場のニーズに沿った技能講習等の各種講習会を的確に開催するとともに情報の提供等を行っていきます。また、沖縄労働局及び各労働基準監督署等との連携を密にして安全衛生大会等を開催するとともに沖縄県内の安全衛生及び労務管理水準の向上に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員事業場の皆様が、希望に満ちた一年になることを祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

一般社団法人 沖縄県労働基準協会

会 長 島袋 清人

副 会 長 仲 西 聡

副 会 長 金 城 稔

副 会 長 樽 岡 誠

副 会 長 渡 真 利

副 会 長 宮 良 博

副 会 長 新 垣 勇

副 会 長 川 満 秀

副 会 長 伊 集 朝

副 会 長 上 地 千 登 勢

副 会 長 手 登 根 明

副 会 長 柴 引 健

副 会 長 宜 本 徹

副 会 長 新 里 勝

副 会 長 宮 城 昭

副 会 長 砂 川 恵 映

副 会 長 与 那 敏

副 会 長 米 盛 博

副 会 長 新 川 正 人

副 会 長 佐 和 田 尚 二

副 会 長 多 嘉 良 子

副 会 長 平 良 昭

副 会 長 古 波 津 昇



沖縄労働局
局 長 柴田 栄二郎

明けましておめでとうございます。旧年中は労働行政の運営につきまして、格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、貴協会並びに会員の皆様には、日頃より職場環境や労働条件の改善、労働災害の防止等の推進に取り組んでおられることに心から敬意を表します。

昨年を振り返ると、観光客数の回復とともに県内経済は回復し、雇用情勢も一部で堅調な動きがみられました。一方で、物価上昇などの影響により、高年齢者の求職者割合が高くなり、また、働き方や休み方のニーズも多様となる中で、求人・求職のミスマッチにより多くの事業主から人手不足の声があがりました。深刻な人手不足の中、従業員の確保や離職防止のため、賃上げや正社員化などの処遇改善が進みましたが、加えてICTの活用等による生産性の向上や働き方や休み方などの働き方改革も一層の取り組みが求められています。

県内の職場環境については、労働災害のうち死亡災害は建設工事関連6件、全産業8件(11月末速報値)と増加し、尊い命が失われたことは極めて憂慮すべき事態であり、また、休業災害も複数の業種で転倒や腰痛などの行動災害が増加しています。

労働者の健康問題については、職場における健康診断の有所見率は全国最下位を脱したものの依然、大きな課題となっています。

人材確保と労働災害の防止や労働者の健康確保など職場環境の改善は、安定的な企業経営にとって前提要素であります。沖縄労働局では、3年目となる「第14



沖縄労働局 幹部職員

次労働災害防止計画」を基に、死亡災害の撲滅、行動災害に係る休業災害の防止、「うちなー健康経営宣言」事業場の拡大及び継続実施等に取り組んで参りますので、皆様におかれましても、何卒御協力をお願い申し上げます。

昨年4月1日から、猶予されていた自動車運転者や医師、建設業、製糖業についても、時間外労働の上限規制が適用されました。今後、少子高齢化の進展に伴い、人手不足がさらに深刻化することが見込まれる中、沖縄労働局としても、これらの課題について、労働基準監督署やハローワークと一丸となって、皆様の取組を支援して参ります。本年も貴協会並びに会員の皆様の益々の御繁栄を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。





需給調整事業室長	訓練課長	職業対策課長	職業安定課長	職業安定部長	労災補償課長	健康安全課長	賃金室長	監督課長	労働基準部長	雇用環境・均等室長	労働保険徴収室長	総務課長	総務部長	局長
津波古	座波	比嘉	真壁	中島	今野	梅澤	崎原	小池	岡崎	半田	三上	新井	君島	柴田 栄二郎
健樹	永樹	淳二	朝文	千勝	貴守	恵利子	雅弘	将司	裕央	裕規	誠			

謹賀新年

沖縄労働局



(一社) 沖縄県労働基準協会
那覇支部

支部長 仲 西 聡

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、穏やかな新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

支部運営につきまして、那覇労働基準監督署をはじめ、関係行政機関や協会本部及び各団体等のご指導、並びに会員事業場の皆様のご理解・ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、年明けすぐに石川県能登地方で最大震度7の地震が発生し、沖縄県内でも気候変動の影響で激しい降雨と洪水により北部地域を中心に土砂崩れや床上浸水・断水など、甚大な被害をもたらしました。被害を受けられたみなさまへ心からお見舞い申し上げます。自然災害の恐ろしさを感じるとともに、備えに対する意識が高まった1年でした。

また、コロナ収束に伴い沖縄の経済活動は通常に戻り、各地でイベントも数多く開催され、景気回復の一步を踏み出した年となりました。

昨年当支部では、安全管理推進大会や労働衛生管理推進大会を開催し、多くの皆さまに参加いただきました。那覇支部安全衛生部会においては、発足7年目を迎える那覇労働基準監督署の南署長と佐喜真安全衛生課長をお招きして安全衛生に関する研修会の開催や中部支部との合同部会を実施するなど活発に取り組んでおります。

本年 1 月には、支部活動として健康づくりシリーズ第3弾として「本気の!ラジオ体操で健康UP・STOP労災」を開



本部・那覇支部職員

催いたします。心身ともに健康でいきいきと働くことができるよう、会員事業場の皆様の健康維持・増進にお役立て頂ければと存じます。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

さて、近年の働き方改革でより一層、「健康経営」というワードを耳にする機会が増えたと思います。

労働災害による死傷者数の減少に向け作業上の安全配慮はもちろんのこと、人手不足による過重労働、メンタルヘルス不調による労働者の健康問題の改善にむけた活動は、企業の生産性や未来の企業を支える創造力を培う基盤となるものといえます。

新年を迎えるにあたり当支部といたしましては、関係行政機関との連携を強化し、支部活動の更なる充実と会員の皆様へ時代の変化に対応した必要な情報を提供するとともに、労働者の更なる安全衛生の推進、労働災害防止、快適な職場環境づくりに少しでもお役にたてるよう支部役員一丸となって取り組む所存でございます。

皆様方の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員事業場のますますのご発展と、皆様のご健康とご安全を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



那覇労働基準監督署

署 長 南 隆 功

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、労働基準行政の運営に格別のご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨年は、時間外労働上限規制の全面適用、最低賃金の大幅なアップ、新たな化学物質の規制等について、対象の企業に様々な支援施策等を行うとともに、労働災害防止対策についても特に発生件数の多い転倒、腰痛、墜落災害等を中心に全力で取り組んでまいりました。

これからも、誰もが働きやすい職場づくりの推進に向けて皆様と共に課題に取り組んでまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

さて、今年の干支である巳年は、巳（蛇）が脱皮を繰り返して成長することから、「金運や幸運を招く」と考えられているそうです。



那覇労働基準監督署職員

私の故郷の奄美の織物である大島紬の「龍郷柄」あは、図案師が月夜に庭を眺めていた時にたまたま一匹の「金ハブ」が月の光で背模様をキラキラと輝かせながら青々とした蘇鉄の葉に乗り移ろうとしたその一瞬を図案化したことから始まったとされています。大島紬を身につけると「運」がアップするかもしれません。

今年は、皆様が社会変化に対応しながら成長し、繁盛する素晴らしい年になるよう、また、貴協会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



（一社）沖縄県労働基準協会
中部支部

支部長 **金城 稔**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は支部運営につきまして沖縄労働基準監督署をはじめ、関係行政機関や関係団体及び協会本部のご指導、並びに会員の皆様のご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は年初から石川県能登地方を震源とする大きな地震が発生いたしました。

また、11月には沖縄本島北部に記録的豪雨による床上浸水や断水など、甚大な被害がありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、沖縄県内の労働者の健康をめぐる状況については、職場での定期健康診断で何らかの異常が見つかる「有所見率」が2023年は前年比1.3ポイント減の70.8%で、13年ぶりに全国最下位を脱出しました。しかしながら依然として県内における有所見率が社会問題として顕在化していることを踏まえ当支部では、地区の会員の皆様の健康づくりにお役立ていただけるよう毎年「ウォークラリー大会」を開催しております。



事業部・中部支部職員

心身ともにリフレッシュできる、異業種で交流を深められると毎回好評をいただいております。今年もご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

今年の干支である乙巳（きのとみ）は「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持ち、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高い年とされています。

当支部といたしましても、関係行政機関のご指導と会員の皆様のご支援、ご協力をいただき、支部活動の更なる充実を目指し、支部職員一丸となり取り組んでまいります。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝、並びに各職場の無事故、無災害を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

「ご安全に!」



沖縄労働基準監督署

署 長 **比嘉 健三**

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、会員の皆様方におかれましては、労働基準行政の運営につきまして、格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、能登半島を中心とした自然災害に見舞われ、世界的には戦争、紛争が常態化し、拡大するとの憂慮した1年でした。今年は、これら戦争、紛争が終焉し、平穏な日々が続くことを願います。

さて、昭和62年に40時間労働制が制定され、40年近くが経過し、ほぼ全業種について、その意識が浸透しつつあります。働き方を変えていくには、多大な労力と時間が必要であったことを痛感しています。

昨今の働き方も大きく変動しておりフリーランス法の施行に伴い、4月からは一人親方に対しても立入禁止等の安全措置が事業者課せられますが、フリーランスに対するこれら安全衛生対策は今後も拡大されてい



沖縄労働基準監督署職員

くものと思われます。それは、働く場において災害を発生させないことが誰しもの共通した願いであり、労働者かフリーランスかの違いはなく、命を守るとの崇高な心からでしょう。事業主様におかれましては、危険、有害な職場環境の廃除のためリスクアセスメントを活用した安全衛生管理体制を構築し、死亡災害を発生させない対策が望まれます。当署としては、貴協会及び災害防止関係団体等と連携した活動と個別の現場臨検件数を増やことにより死亡災害ゼロを目指して粘り強く指導してまいりたいと思います。

結びに貴協会の発展と会員皆様の御健勝を祈念して、新年のご挨拶といたします。

(一社) 沖縄県労働基準協会
北部支部

支部長 樽岡 誠

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中の北部支部運営が、名護労働基準監督署を始め関係行政機関、関係団体等のご指導、並びに協会本部、支部運営委員、そして会員の皆様のご支援ご協力により滞りなく遂行することが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年は、石川・能登半島地震・豪雨をはじめ各地で災害が多く発生した年でした。また、11 月には北部地区でも大雨による土砂崩れや浸水被害が発生いたしました。被害の大きさに胸を痛めるとともに、気候変動の進行に伴う大雨や急激な気象変動による被害が避けられなくなる中、避難場所の確認や訓練など適切な備えと減災への取組みが重要であることを改めて思い知らされました。

さて、昨年の北部支部の活動としましては、北部地区安全管理推進大会及び北部地区労働衛生管理推進大会を開催するとともに、異業種勤労者の親睦と健康保



北部支部職員

持推進を目的とした第 8 回勤労者親睦ボウリング大会を開催しました。会員事業場の皆様の安全活動の定着化、労働衛生に対する意識の向上、健康づくりに多少なりともお役に立てていましたら幸いです。

本年も「安全第一・健康第一」で、労働災害を減らし、有所見率の改善に向け、名護労働基準監督署、他行政機関、協会本部並びに各支部との連携を取り、会員の皆様のご支援ご協力を得て、一丸となり取り組みたいと思いますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご繁栄とご健勝、並びに各職場の無事故、無災害を祈念しまして、新年の挨拶といたします。



名護労働基準監督署

署 長 上 原 周

新年あけましておめでとうございます。

旧年中、貴協会並びに会員の皆様には、労働基準行政につきまして、格別の御支援、御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年は、観光業の回復や個人消費の増加などにより、県内の経済状況は緩やかな拡大の動きが実感できる年となりました。本年は、ここ北部に大規模なテーマパークが開園予定であり、昨年以上に多くの観光客が訪れ、経済状況の拡大の動きは継続するものと予想されます。一方、物価高騰や生産年齢人口の減少傾向、慢性的な人手不足など、景気下押しの景況が懸念されることから、これらの課題を解決し乗り越えていくために重要な年になるものと思われます。

さて、当署管内における労働災害発生状況ですが、2 年続けて「死亡災害ゼロ」を継続していたところですが、残念ながら、昨年は 4 人（11 月末現在速報値）の方がお亡くなりになりました。また、休業 4 日以上



名護労働基準監督署職員

害においても増加（11 月末現在速報値）という結果となっております。

本年において、私どもは、あらゆる職場で働く者の安全と安心を願い、第 14 次労働災害防止計画に基づく指導、法定労働条件の履行確保、適正・迅速な労災保険給付において、これまで以上の努力を傾ける所存であります。昨年同様、貴協会並びに会員の皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、重ねて御願い申し上げます。

最後になりますが、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



（一社）沖縄県労働基準協会
宮古支部

支部長 **渡真利 勝**

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年中は宮古労働基準監督署をはじめ関係各機関の皆様のご指導ご協力のもとで一年を過ごすことができました。心から感謝申し上げます。

世界情勢は、ロシアのウクライナ侵攻 2 年 8 か月、世界経済の混乱、円安、資源やエネルギーの高騰等一刻でも早い終息を願うばかりであります。

労働環境の面で令和 6 年 4 月より働き方改革の一環として建設業や製造業、ドライバー、医師等の時間外労働の上限規制が適用されております。

人材を確保するには、労働条件の改善、ワークライフバランスの推進など生産性の向上に向けた取組みが一層求められております。

労働者の安全と健康の確保には、安定的な事業運営が不可欠なものです。



宮古支部職員

一人の被災者をも発生させるな、という決意の下で労使一体となって安全衛生活動に取り組んでいけるよう更なる御尽力を賜りお願い申し上げます。

結びに、会員事業所の発展と皆様方の健康と安全を心より祈念し新年の挨拶とさせていただきます。



宮古労働基準監督署

署 長 **井上 茂樹**

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は労働基準行政の運営につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

宮古島市の令和 6 年度上半期の入域観光客数は前年同期比で 143,581 人 (29.59%) 増の 628,856 人となりました。好調な観光需要等に伴って管内の有効求人倍率は 1.5 倍程度で推移しており、建設需要も引き続き順調で、リゾートホテル建設工事等が多数施工されています。

昨年 4 月にはこれまで適用が猶予されていた業種等にも時間外労働の上限規制が適用されており、当署においても、長時間労働の抑制と過重労働による健康障害防止や一般労働条件確保・改善対策に取り組んでおりますが、とりわけ昨年の年始には宮古地区において死亡災害が連続して生じたため、貴協会宮古支部長をはじめとする皆様方に対して、死亡災害防止対策の徹底にご協力いただくよう呼び掛け、関係者が一体となって労働災害防止に努めていただくよう緊急に要請いたしました。



宮古労働基準監督署職員

宮古地区においては、恒常的な人手不足によって安全対策が疎かになることが懸念されます。何よりも優先すべきは「安全第一」であり、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くために、労使一丸となった取組をお願いします。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、無事故・無災害を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。





(一社) 沖縄県労働基準協会
八重山支部

支部長 **宮良 博文**

あけましておめでとうございます。会員事業場におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は支部運営につきまして、八重山労働基準監督署をはじめ、関係行政機関、関係団体、会員事業場の皆さまにご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。事業場において日頃より、安全衛生、健康、快適な職場環境づくりに熱心に取り組んでおられる皆さまのご努力とご苦労に心から敬意を表します。

当支部では、八重山地区安全大会、八重山地区労働衛生大会、八重山労働基準監督署との合同衛生パトロール、緑地公園のクリーンアップ活動、支部安全衛生部会研修を行うなど、情報交換や意見交換を活発に行いました。

八重山においても観光入域数が増加の一途を辿っています。各産業では慢性的な人手不足の課題が一層顕著で、外国人労働者の受け入れが活発化し、作業の自動化設備を取り入れるなど、時流の変化を目の当たりにしています。



八重山支部職員

そのような中、高齢者や女性など様々な方が安心して働くことができる環境を整えることが求められています。勤労者の安全と健康の確保を推進するためには、企業の経営者をはじめ、広く関係各位のご理解とご協力が不可欠です。今年も安心して働ける快適な職場環境を実現していただきますよう、お願いいたします。

結びに、皆さまのご健康とご安全を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



八重山労働基準監督署

署 長 **渋谷 雄太**

新春のお慶びを申し上げます。

平素より、会員事業場におかれましては労働基準行政の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、関係団体の皆様と共に、八重山地区安全大会、八重山地区労働衛生大会、緑地公園クリーンアップ、合同パトロールなど、多くの取り組みを進めることができました。とりわけ、最低賃金が時間額 952 円に引き上げられることについて、昨年 10 月に宮良支部長と共に石垣市役所をはじめとする自治体や、地元商工会や建設業協会などの各種団体に直接周知できたことは、大変意義深いものでありました。また、昨年 1 月には宮良支部長と共に、家畜市場での補助事業の説明会の場で、車両系建設機械の運転の業務など一定の業務については資格等が必要であること等を畜産業者に呼びかけたところ、昨年 10 月末現在で畜産業を含む業種で死傷災害が大幅に減少していることから非常に



八重山労働基準監督署職員

効果的な取り組みであったと思います。

一方で、昨年 10 月末現在の八重山署管内の全業種の死傷災害（新型コロナウイルスによるものを除く。）の人数は、過去最多を記録した一昨年前の同時期と比較して僅かに下回るものであり、高止まりの状況にあると言えます。そのため、今後とも関係団体の皆様と共に労働災害防止のために取り組んでまいりたいと思います。

結びに、本年が皆さまにとりまして、安全で実り多き一年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

那覇支部
通信

「令和 6 年度那覇支部安全衛生研修会」を開催

那覇支部は、12月5日（木）に琉球サンロイヤルホテルにて、那覇労働基準監督署の南署長と佐喜真安全衛生課長をお招きして「令和 6 年度那覇支部安全衛生研修会」を開催し、那覇支部運営委員と那覇支部安全衛生部会員 24 名が参加しました。

仲西那覇支部長のあいさつで開会し、南那覇監督署長より「沖縄労働局労働基準行政が取り組むべき課題と取組状況（上半期）」についての講話が行われました。



南監督署長からは、県内の有効求人倍率は令和 4 年 8 月以降連続で 1 倍を超えており、人手不足となっている。労働災害は、高齢者の災害が増加しており、令和 5 年では 60 歳以上の労働者の労働災害全体に占める割合が 28.4% となっている等の説明がありました。

佐喜真安全衛生課長からは、沖縄県内における労働災害の発生状況、事故の型別発生状況等の説明があり、転倒、動作の反動・無理な動作による災害が全体の 45.7% を占めている。また沖縄県内で発生した墜落・転落、移動式クレーン転倒災害について発生状況と発生原因。はしご、脚立、貨物自動車からの墜落・転落防止対策。化学物質による災害は、化学工業よりも食料品製造業、小売業、飲食店で多い。新たな化学物質管理により「化学物質管理者」、「保護具着用管理責任者」の選任が義務化されている。「労働者死傷病報告」等は、来年 1 月からは電子申請が義務化される等の説明がありました。具体的な説明に参加者は真剣に耳を傾けていました。



研修会終了後に懇親会が行われ、研修会の感想や意見交換、各事業場での事例等の話題で交流を深めました。

令和 7 年度講習『受講予約受付開始日』について

「令和 7 年度 技能講習・その他安全衛生教育等実施計画表」につきましては、12 月 20 日（金）より公開しておりますが、受講予約受付開始日については、

令和 7 年 1 月 20 日（月）13:00～ のとおりとさせていただきます。

注意事項

- ① 令和 6 年度におけるキャンセル待ちについては、令和 6 年度の講習に対してのみ有効です。
令和 7 年度の講習については、新たに受講申込をお願いします。
- ② 受講を希望される際は、まずお電話にて各支部にお問い合わせください。



どうぞご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「安全衛生教育促進運動」

令和 6 年度 2024 年 12 月 1 日 ▶ 2025 年 4 月 30 日

正しい知識で 職場を安全・健康に！

令和5年の沖縄県における業務上疾病の発生状況

～「新型コロナウイルス感染症を除く業務上疾病者数が前年比6.8%増～」

1 県内における業務上疾病の発生状況 (図1～図5、表1)

- (1) 新型コロナウイルス感染症を除く**業務上疾病者数**は、令和元年(109人)以降、毎年増加しており、令和5年には**157人**(前年比6.8%増)となった。
- (2) 上記(1)のうち「**災害性腰痛**」は101人(前年比7.4%増)となり、新型コロナウイルス感染症を除く業務上疾病者数に占める割合は**64.3%**であった。また、業種別の内訳は、保健衛生業が35.6%、商業・金融・広告業が22.8%を占めた。

(参考) 新型コロナウイルス感染症を含む業務上疾病の推移は図1参照

令和6年11月26日沖縄労働局発表

図1 県内における業務上疾病発生状況の推移
(平成26年～令和5年(疾病別:新型コロナウイルス感染症含む))

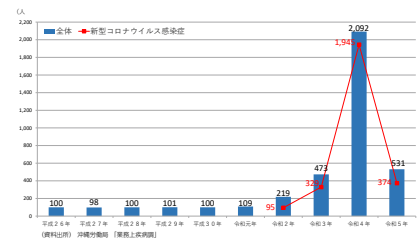


図2 県内における業務上疾病発生状況の推移
(平成26年～令和5年(疾病別:新型コロナウイルス感染症除く))

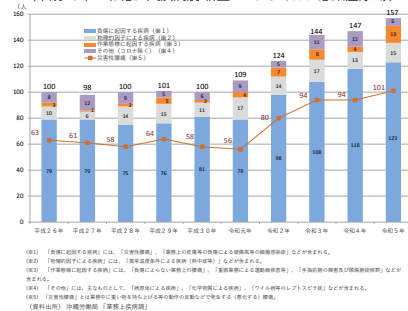


図3 県内における業務上疾病発生状況の推移
(平成26年～令和5年(業種別:新型コロナウイルス感染症除く))

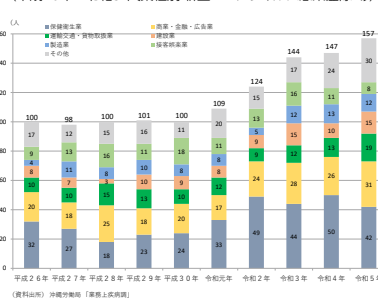
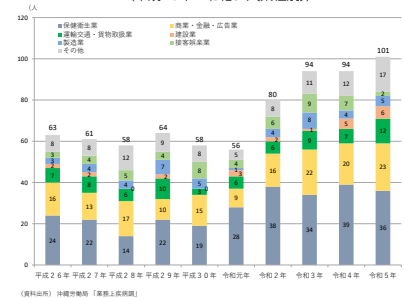


図5 県内における災害性腰痛発生状況の推移
(平成26年～令和5年(業種別))



2 沖縄労働局における主な取組み

新型コロナウイルス感染症を除く業務上疾病の64.3%を災害性腰痛が占めることから、

- (1) 腰痛の予防を図るため、安全衛生教育の実施及び身体的負担の軽減に向け、転倒予防も含めた「転倒・腰痛予防対策」、「SAFEコンソーシアム」、「高齢労働者の健康づくり」や助成金支援(参考資料1)や腰痛予防アドバイザー事業(参考資料2)の活用を周知する。
- (2) その他業務上疾病の対策として、産業保健活動支援やメンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、化学物質管理など、さまざまな対策と支援を行っていく(参考資料1)

業務上疾病の対策と支援一覧

産業保健活動総合支援

産業保健総合支援センターは、産業保健活動を支援するため、企業への訪問指導や相談対応、研修などを実施しています。

地域産業保健センター(地産保)では、小規模事業場を対象に、医師による健康相談などを実施しています。

また、事業主団体等を通じて、中小企業等の産業保健活動の支援を行う「団体経由産業保健活動推進助成金」による支援も実施しています。

■産業保健総合支援センター(さんぽセンター)
<https://www.johas.go.jp/shisetsu/tabid/578/Default.aspx>

■団体経由産業保健活動推進助成金
<https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/tabid/1251/Default.aspx>

メンタルヘルス対策

職場でのメンタルヘルス対策に関する法令・通達・マニュアル、「ストレスチェック実施プログラム(無料)」を掲載しています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei12/>

■働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの目」
<https://kokoro.mhlw.go.jp/>

SAFEコンソーシアム

「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」※に加盟し安全衛生の取り組みを社内外にPRしましょう!

※増加傾向にある転倒・腰痛などの労働災害について、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図る活動です。趣旨に賛同した企業、団体がコンソーシアムを構成し、労働災害問題の協議や、加盟者間の取り組みの共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知向上などをサポートします。

■SAFEコンソーシアムポータルサイトはこちら
(サイト内から加盟申請もできます)
<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>

治療と仕事の両立支援

治療と仕事の両立支援のガイドラインや企業の取り組み事例、シンポジウムなどの総合的な情報を紹介しています。

■治療と仕事の両立支援ナビ
<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>

化学物質管理

化学物質のラベル・SDSの作成、危険有害性に応じたリスクアセスメントを着実に実施するための情報を提供しています。

■職場のあんぜんサイト
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/kagaku_index.html

高齢労働者の健康づくり

高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向けた取り組みを進めましょう。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html

転倒・腰痛予防対策

「いきいき健康体操」(監修:松平浩)

■動画
<https://www.mhlw.go.jp/content/000895038.mp4>

■解説書
<https://www.mhlw.go.jp/content/kaisetu.pdf>

その他

■職場における熱中症予防情報
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

■職場における受動喫煙防止対策
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/kitsuen/index.html

■令和7年1月1日から労働者死傷病報告の電子申請が義務化されます!
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/denshishinsei_00002.html



添付資料及び詳細については、沖縄労働局のホームページをご参照ください。

なお、担当部署は、沖縄労働局 労働基準部 健康安全課(電話番号 098-868-4402)です。

令和 6 年 業種別署別労働災害発生状況（10月末累計）

（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

沖縄労働局

年・署別・局計等 業 種	令和6年(10月末累計)							令和5年(10月末累計)							局計対令和5年比較	
	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計		那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計		増減数(人)	増減率(%)
製 造 業	56	60	17	(1) 11	4	(1) 148		78	(1) 54	10	2	2	(1) 146		2	1.4
食 料 品 製 造 業	28	31	12	(1) 8	2	(1) 81		45	25	8	1	1	(0) 80		1	1.3
鉱 業						(0) 0							(0) 0		0	-
建 設 業	66	(1) 59	(2) 14	(1) 14	3	(4) 156		75	(4) 70	11	5	9	(4) 170	▽	14	▽ 8.2
土 木 工 事 業	5	10	2	1	2	(0) 20		13	(1) 14	2	2	4	(1) 35	▽	15	▽ 42.9
建 築 工 事 業	46	(1) 40	(2) 8	(1) 12		(4) 106		45	(2) 52	7	2	3	(2) 109	▽	3	▽ 2.8
交 通 運 輸 事 業	19	1			1	(0) 21		17	5	1			(0) 23	▽	2	▽ 8.7
陸 上 貨 物 運 送 事 業	48	13				(0) 61		39	12		(1) 3	4	(1) 58		3	5.2
港 湾 荷 役 業	3				1	(0) 4		2		1	1	1	(0) 5	▽	1	▽ 20.0
林 業					1	(0) 1		1		1	2		(0) 4	▽	3	▽ 75.0
農 業、畜 産・水 産 業	4	9	5	2	1	(0) 21		7	2	3		4	(0) 16		5	31.3
第三次産業（運輸を除く）	379	(1) 213	(1) 52	36	40	(2) 720		322	220	45	35	35	(0) 657		63	9.6
商 業	126	55	10	6	7	(0) 204		96	62	3	5	6	(0) 172		32	18.6
小 売 業	79	43	8	3	3	(0) 136		54	49	3	4	3	(0) 113		23	20.4
接 客 娯 楽 業	43	35	22	16	16	(0) 132		37	42	15	9	16	(0) 119		13	10.9
旅 館・ホ テ ル	12	13	13	10	10	(0) 58		14	15	8	4	7	(0) 48		10	20.8
飲 食 店	25	18	6	2	4	(0) 55		17	19	3	2	3	(0) 44		11	25.0
保 健 衛 生 業	103	46	8	6	7	(0) 170		86	58	13	5	5	(0) 167		3	1.8
社 会 福 祉 施 設	84	36	8	5	7	(0) 140		58	42	11	4	5	(0) 120		20	16.7
ビルメンテナンス業	26	21	1	5	4	(0) 57		31	8	2	9	4	(0) 54		3	5.6
そ の 他 の 業 種	81	(1) 56	(1) 11	3	6	(2) 157		72	50	12	7	4	(0) 145		12	8.3
全 産 業	(0) 575	(2) 355	(3) 88	(2) 63	(0) 51	(7) 1,132		(0) 541	(5) 363	(0) 72	(1) 48	(0) 55	(6) 1,079		53	4.9

(注) 1. 労働者死傷病報告により作成したもの。
2. 被災者数の枠の左側（ ）は死亡者数で内数。
3. 「▽」は減少を示す。

4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。
5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。
6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜（とく）除く）、官公署、その他の事業を示す。

令和6年死亡災害発生状況（10月末現在）

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発生状況
1	宮 古	はさまれ・ 巻き込まれ	整地・運搬・ 積み込み用機械	その他の食料品製造業	1月中旬	50歳台	50～99	ヤード内において、トラクター・ショベルを運転してサトウキビの運搬作業を行っていたところ、後進中の同車両に被災者が巻き込まれたもの。
2	名 護	墜落・転落	足場	その他の建築工事業	1月中旬	20歳台	1～9	RC造4階建てビルの外壁改修工事における躯体周囲の単管足場の組み立て作業中、頭部から出血し地面上にうつ伏せで倒れている被災者が発見され、その後死亡したもの。
3	宮 古	墜落・転落	足場	鉄骨・鉄筋コンクリート 造家屋建築工事業	2月中旬	10歳台	10～29	高さ12.8mの外壁足場7層目において、幅木の取り付け作業を行っていたところ、躯体の反対側から墜落したもの。
4	名 護	交通事故 (道路)	トラック	警備業	6月下旬	40歳台	50～99	ダンプトラックが港湾施設から道路へ出ようとしていたところ、付近にいた者がダンプトラックに接近したので、これを制止しようとした警備員がダンプトラックに轢かれたもの。
5	沖 縄	感電	送配電線等	その他の建築工事業	7月上旬	30歳台	1～9	足場の組立作業中、足場外部にメッシュシートの取り付けを行っていた際、被災者の上方にあった送配電線に被災者が接触し、感電したもの。
6	名 護	高温・低温の 物との接触	高温・低温環境	その他の建築工事業	7月中旬	60歳台 以上	1～9	工事現場で、被災者が資材の片づけを行っていたところ、熱中症で倒れ、搬送後に死亡したもの。
7	沖 縄	交通事故 (道路)	トラック	警備業	10月中旬	50歳台	50～99	RC造6階建てのアパート新築工事現場の公道上において、交通誘導を行っていた被災者が、コンクリートミキサー車の正面でしゃがみこんでいたところ、発進したコンクリートミキサー車にひかれて死亡したもの。

※死亡災害報告(速報)によるため、労働者死傷病報告にて集計している労働災害発生状況の死亡者数と一致しないことがある。
※記載された情報は今後の調査により修正される場合がある。

2025年
中災防
年間標語

安全は 働くみんなでつくるもの
働くみんなを守るもの



講習会のご案内 (令和 7 年 2 月分)

長年の実績と信頼、理解し易い講習に努めています
各講習の日程表など詳細については、当協会ホームページにも掲載しております。



二次元
バーコードからも
ご確認頂けます。

項 目	講習名	実施日・実施会場	受講料等 (テキスト代込み)
事業部 (教習センター) ☎ (098) 979-7897 📠 979-9975	フォークリフト 運転技能講習	2/3(月)~7(金) 学 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 教習センター(うるま市州崎)	47,150 円
	石綿作業主任者技能講習	2/4(火)~5(水) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	13,380 円
	はい作業主任者技能講習	2/6(木)~7(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	14,095 円
	テールゲートリフター 操作業務特別教育 (臨時)	2/10(月) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 9,990 円 非会員 11,990 円
那 覇 支 部 ☎ (098) 868-2831 📠 869-1714	安全衛生推進者養成講習	2/13(木)~14(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	13,930 円
	玉掛け技能講習	学 2/17(月)~18(火) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 A班19(水)、B班20(木)、C班21(金) 教習センター(うるま市州崎)	免除有 26,150 円 免除無 28,150 円
	低圧電気取扱者特別教育	2/19(水) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 8,870 円 非会員 11,070 円
	安全管理者選任時研修	2/20(木)~21(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 16,350 円 非会員 21,850 円
中 部 支 部 ☎ (098) 937-0162 📠 937-0163	有機溶剤作業主任者技能講習 (臨時)	2/20(木)~21(金) 九州沖縄トラック研修会館5階 (那覇市港町)	13,380 円
	特定化学物質・四アルキル 鉛等作業主任者技能講習	2/25(火)~26(水) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	13,380 円
	職長教育・ 安全衛生責任者教育	2/27(木)~28(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 16,350 円 職長のみ 14,080 円 非会員 21,850 円 職長のみ 19,580 円
	小型移動式クレーン 運転技能講習	2/25(火)~27(木) 学 北部会館4階(名護市宇茂佐の森) 実 ネオパークオキナワ駐車場	二科目免除 23,925 円 一科目免除 25,925 円 免除無 27,925 円
宮 古 支 部 ☎ (0980) 73-1455 📠 73-6511	小型移動式クレーン 運転技能講習	2/19(水)~21(金) 学 宮古建設会館 1階会議室 実 先嶋建設(株)多目的広場	二科目免除 23,925 円 一科目免除 25,925 円 免除無 27,925 円
八 重 山 支 部 ☎ (0980) 88-5355 📠 88-5360	玉掛け技能講習	2/3(月)~7(金) 学 八重山建設会館 実 石垣港南ぬ浜町ふ頭用地	免除有 26,150 円 免除無 28,150 円

各講習の日程表・受講申請書が必要な方・定員の確認は、各支部へお問い合わせください。

・受講予約者が定員に達している場合には、キャンセル待ちとなりますので、ご了承ください。

めんそ〜れ

沖縄県
労働基準協会へ

新規加入事業場のご紹介(11月16日~12月15日)

協会支部名	事業場名	所在地
那覇支部	株式会社 玉城・工業	糸満市賀数 236-2